



796

プロシヤン・バンダ
 銀行名
 普魯西
 事



114
A4494



プロシアンバンク 普魯西銀行ノ名 之事

バーロン、フランシス、ボルド述

此銀行ハ一千七百六十五年「フレデリック二世」普魯
二王ノ名ノ創建スル所ニシテ即チ官立ノ構造タリ
 後一千八百四十六年ニ至リ此銀行ヲ解散セラ
 其制度ヲ改革シ是ヨリシテ私民ト雖モ此銀行
 ノ株主トナルコトヲ得タリ一千八百四十七年一
 月一日更ニ其資金ヲ募リ一株ヲ一千「ターレ」
 ト定メ一千「ターレ」ノ金ヲ度民ヨリ拂込マ
 シ又政府ヨリハ百二十六「ターレ」ヲ出シテ

〇「ターレ」ハ九リ
我七十一錢餘ニ
當

大正十一年四月
讓侯爵邸寄贈

大藏省

レニ合セテ政府ノ資金ハ一十八百五十二年ニ至リ更ニ増加セラ百五十五万九千ターレルト為リ一千八百五十六年ニ八百八十万零九千ターレルトナリ又一千八百六十七年十二月ノ終ニ於テ八百八十九万七千八百ターレルト為レリ又庶民資金ハ前条ノ一千万ターレルヲ除キ一千八百五十六年五月七日ニ八百五十万ターレルト為リ一千八百六十六年九月二十四日ニ至リ更ニ五百萬ターレルヲ増和セリ故ニ現今ニ及コテハ其資金二千万ターレルトナレリ其株數ハ株主ノ

姓名住所ト一併ニ銀行ノ簿冊中ニ記録ス
此銀行ノ資金ハ

- 第一 政府并ニ私民ヨリ拂込ノ株金
- 第二 政府保證ノ上銀行ニ預リタル積金

ヨリ成ル者ナリ左ニ積金預リノ事状ヲ記述ス
ヘシ

普魯西國律
國中常例法ノ行ハル、必ニ於テハ審理院并ニ
教院学校病院其外諸院ノ幹事ハ必ス其積金ヲ
此銀行ニ預ケラルヲ得ストス而レテ教院病院
子校等ノ積金ニハ二分五厘ノ利息ヲ附与レ其

普魯西國中業
冠河以東ノ地ハ
普魯西國律行ハ
ル元河以西ノ地ハ
普魯西國律行ハ
ルナシトナレド
行ハル故ニ亦カ云フ

官ニテ命シタル後見人

○審理院并官ニ
テ命シタル後見人
如キ者ヲ云フ

レ諸構造ノ積金ニハ二分ノ利息ヲ附与ス但レ
五十タール以下ノ金ハ之ヲ預ラス又十ヲ以テ
除レ奇數アル金額ハ之ヲ預カラス
右諸人ノ外ナル各人ヨリ金ヲ預ルキハ左ノ割
合ヲ以テ其利息ヲ附与ス

第一 丁年ニ至ルカ又ハ痲病ノ治スル迄後
見人ノ保佐ヲ受タル弱冠ノ者并ニ痲子ノ積
金三分
第二 丁年ノ者ト弱冠ノ者ト其有シタル積
金二分五厘

第三 丁年ノ者ノミ使用スル積金後見人蕩
子ノ為ニ管収レタル積金并ニ痲子ノ外ノ丁
年ノ者(此者ノ積金ハ三千^{タール}以上ハ預
カラス)ノ積金二分

右金預^録ル事業ノ外此銀行ノ職掌ハ三月末^{事業}ノ
ノ證券ヲ割引シテ貸付スル事証券買込ノ事利
息付ノ内國証券(ゴールマンントコンミューナル^{縣廳}
ノ發行又ハ州會ノ發行ヲ論セス)又ハ國內鉄
道株式又ハ諸證券ヲ抵當トシテ^{金ヲ貸シ}利息付^{公積}ノ積
證書^{内國入ニ}貸付スル事又ハ貨物ヲ抵當ト

此句挿註ス

金ヲ貸ス事等是ナリ

又此銀行ハ自己又ハ他人ノ為メニ右ノ證券類
ヲ賣買シ為替券ヲ受授シ自己又ハ他人ノ為ニ
為替券ヲ交換シ又ハ之ヲ發行シ金銀塊又ハ金
銀ヲ買込ミ又ハ賣出ス事ヲ務メ又政府ト列廳
トノ間ニ立テ其會計ノ事務ヲ執行シラ列廳ヨ
リ政府ヘノ送致或金ヲ受取リ又ハ政府ノ指令
ニ從ヒ金ヲ列廳ニ支付スルコトアリ又此銀行ハ
貴重ノ品物ヲ預ルニ其謝金ヲ取ルコトアリ
一千八百四十六年四月十一日ノ條例ニ據テ此

註
△假令、銀行券ノ奈
行高一万五千タール
トスレハ五千タール金
銀ヲ以テ之ニ當テ七十
五百タールハ證券又ハ為
替券ヲ以テ之ニ當テ殘
リ二千五百タールハ
借財證券ヲ以テ之ニ當
ルナリ

銀行二十五「タール」五十「タール」百「タール」及
七五百「タール」ノ四種ノ銀行券ヲ一千萬「タール」
迄發行スルコトヲ許サレ同年十月五日ニ於テハ
更ニ二千一百万「タール」迄發行スルコトヲ許シ
レタリ但シ發行シタル銀行券高ノ三分一ハ金
銀塊ヲ以テ之ニ當ラシメ三分二ハ賣買ノ成ルヘ
キ證券又ハ為替券ト保證ノ確カナル倫巴多証
券トヲ以テ之ニ當ツヘキ者トセリ一千八百五
十六年此銀行大藏卿ト取結ヒタル約定ニ據テ
下ニ記載シタル四種ノ銀行券ノ限格ヲ定メス

發行スル「許」ワレタリ温シク
 行券ハ一千万ターレル迄發行スルヲ得
 引當イテ發行高ニ就テ其三分一ハ金銀若クハ金銀
 券ノ發行高ニ就テ其三分一ハ金銀若クハ金銀
 塊ヲ以テ之ニ當テ三分ノ二ハ為替券ヲ以テ之
 ニ當ツヘシトス又本局支局ノ別ナク何時ニテ
 需要ニ應シテ其紙幣ヲ金銀ト交換ス可キモ
 一トセリ
 一千八百五十六年ノ約定ハ時銀行ノ方ニテハ
 一千八百五十一年ニ發行シタル一千五百万ター

一レルノ「トレジュリー」ボンド
 以テ之ヲ消却セント約シ政府ノ方ニテハ一千
 七百五十九万八千ターレルノ「トレジュリー」ボンドヲ
 新ニ發行シテ旧「トレジュリー」ボンドヲ交換セシメリ因テ
 此銀行ハ新「トレジュリー」ボンドノ利息トシテ毎年
 六十二万一千九百十ターレルノ銀行券ヲ此證券
 ノ持主ヘ拂ヘリ若シ此銀行解散スルハ政府
 ニ於テ其殘餘ノ銀行券ヲ金銀ト交換セシメラ
 保證ス又銀行解散ノ時ニ當リ其豫備金ノ額拂
 資金融ノ額ニ割多カラサレハ之ヲ政府ト株主

此時未共銀行券ノ發行スルハ
 銀行券ノ發行スルハ
 銀行券ノ發行スルハ
 銀行券ノ發行スルハ

銀行間ニ平均分配ス
 第一 政府ヨリ拂込タル資金ノ利息三分五厘
 第二 一千八百五十六年發行政府公債一千五百萬タリレルノ利息五十五分タリレル
 第三 一千八百五十六年發行政府公債一百六十萬タリレルノ利息七万一千九百十タリレル
 第四 株主ニ配分ス可キ利息四分五厘
 第五 為替券并ニ倫巴多証券ヲ割引シタル損金
借財證書

銀行利益中右ノ諸項ヲ拂こり其餘ノ金ハ之

ノ政府ト株主トノ間ニ平均ニ配分ス
 此銀行ハ政府ノ監督スル所ニシテ以前ニハ凡
 ノ官立構造タル者ノ受ク可キ一切ノ權利ヲ有
 シ中ニ就テ證印稅郵便料手續料ホヲ除免セラ
 レタリ然レモ一千八百七十一年ノ會議ニ因テ
 此諸權利ヲ廢止セラレタリ
 此銀行ハ英佛其他ノ銀行ニ比スレハ支店支配
 又ノ負數甚ク多シ此支店ハ殆ント樹根ノ如ク
 國內ニ分散シテ諸地方ヨリ金銀ヲ招集ス是又
 以テ國內百二十四ヶ所ノ支店ニ於テハ同一ノ

手註
手註
手註

註
即チ八千四百七十六萬
タレレ

方法ニテ銀行券ヲ貸付シテ得ルナリ
 一千八百七十年中計算據ルハ此銀行ノ有金額
 ハ三十三億三千三百萬タレレニシテ之ニ諸列
 ノ支店ノ有金額ヲ加算スレハ五十四億六千五百萬
 タレレト為ス又銀行券ノ發行高ハ平均一億六
 千三百萬タレレニシテ之ニ當テタル金銀塊ハ
 其五割ニ分アリ又同年
 株主ハ一割一分四分ノ三ノ利益ヲ收受ス
 政府株主兩ツナカラ多分ノ利益ヲ得ルヲ知ルハ

五ルサツスロテリンガイノニ地此銀行ノ屬地ト
 為リタルニ因リ現今銀行改革ノ議ヲ起シタリ
 此議ハ實ニ商人ノ深慮焦思スル所ニシテ日耳
 曼議院ノ一大要件ナリ

大
新
甘

